

日本学術振興会
炭素材料第117委員会
第314回委員会議事録

1. 日 時 平成27年7月31日(金) 9:30~17:00
2. 場 所 東京大学本郷キャンパス 工学部8号館85号講義室
3. 出席者 42名(順不同・敬称略)
- 委員長： 川口雅之(大阪電通大)
- 副委員長： 藤本宏之(大阪ガス)
- 主査： 尾崎純一(群馬大)、豊田昌宏(大分大)、児玉昌也(産総研つくば)
- 幹事： 稲垣道夫(北大名誉)、安田榮一(東工大名誉)、寺井隆幸(東大)、
京谷隆(東北大)、塩谷正俊(東工大)、丸山純(大阪市工研)、棚池修(産総研東北)
- 委員： 沖野不二雄(信州大)、塩山洋(産総研関西)、小田廣和(関西大)、飯島孝(新日鐵住金)、今川博(SECカーボン)、高波浩(タンケンシールセーコウ/代理：木村直文)、忠政明彦(パナソニックエコソリューションズ)、橋爪剛(オイレス工業)、羽鳥浩章(産総研つくば)、岩下哲雄(産総研つくば)、福田敏昭(東海カーボン/代理：鶴田佳子)、森田純子(東洋炭素/代理：森下隆広)、松本里香(東京工芸大)、武藤浩行(豊橋技科大)、山下良(新日本テクノカーボン/代理：武藤剛範)、向井紳(北大)
- 委員外： 清原健司(産総研関西)、菱山幸宥(東京都市大名誉)、宮嶋尚哉(山梨大)、西澤節(元神戸製鋼)、山田能生(産総研)、斎藤幸恵(東大)、後藤和馬(岡山大)
- 同伴者他： 川村良一(タンケンシールセーコウ)、児島勇(タンケンシールセーコウ)、坪田敏樹(九工大)、曾根田靖(産総研つくば)、吉澤徳子(産総研つくば)、宮澤邦夫(室工大)、西原洋知(東北大)

4. 本委員会議事経過

※川口委員長司会の下に本委員会を開催した。

4-1 前回議事録の承認

- ・第313回委員会議事録(案)の確認と承認を行った。
- ・A, B, C分科会議事録(案)について、確認と承認を行った。

4-2 117委員会関連報告

(1) 委員長報告など

① 会員異動

入会：パナソニック・エコソリューションズ 忠政明彦様

所属変更 : 旭化成 山下順也様 →旭化成イーマテリアルズ
新規委員外登録 : 岡山大 後藤和馬様

②平成 27 年度委員会開催日程について

以下の通り実施する計画である旨が説明された。315 回は、当初予定の東京都市大から東工大に変更になった。

- ・ 第 314 回：平成 27 年 7 月 31 日（金） 東大
- ・ 第 315 回：平成 27 年 9 月 11 日（金） 東工大
- ・ 第 316 回、特別講演会：平成 27 年 11 月 19 日（木）、20 日（金） 産総研

③ 学界の委員外登録会員について改定

学術トピックスの発表をより広く募るため、分科会で発表をした学界の非会員（委員の同伴者。学生は除く）は、希望しない場合を除き、次の回から自動的に委員外登録とし、名簿掲載の上開催案内を送ることになった。ただし、2 年間一度も出席がなくなった場合は、一旦名簿からは削除する（再登録は可能）。

④ 117 委員会ホームページへの会員リンク先掲載

委員会のホームページに、会員の研究室や企業の WEB サイトへのリンク先も掲載したいと考えている。近日中に、掲載可否のお願いを発送するので、ご協力をお願いする。なお掲載は強制ではない。

⑤ 平成 27 年度特別講演会について

平成 27 年 11 月 19 日（木） 11：00 より産総研臨海副都心センターで開催する。従来通りのベテランと若手の講演の他、学振より他委員会との交流を推奨されている背景から、先進セラミックス 124 委員会、石炭・炭素資源利用技術 148 委員会からゲストを招聘。124 委員会委員長の矢野豊彦東工大教授、148 委員会幹事の鷹觜利公産総研グループ長、117 委員会前幹事の吉田明東京都市大名誉教授は講師内諾済み。その他若手 2 名を打診中。

⑥ 日独セミナーについて

第 5 回は先週 7 月 19-21 日にドイツ・フライベルク市で開催した。詳細は別紙議事録の通りで、丸山特任幹事より説明があった。9 月の委員会で、要旨集を配布する予定。次回第 6 回は、2017 年 9 月に関西での開催を計画している。

(2) 分科会資料（発表順）

- 117-314-C-1 2000°C を超える温度領域でのアルゴン雰囲気下の炭素材料からの放射スペクトル
(産総研関西) ○塩山洋、(産総研つくば) 曾根田靖
- 117-314-C-2 糖類の水熱炭素化に及ぼすヨウ素添加の影響
(山梨大) ○宮嶋尚哉、関戸隆人、松崎優莉、天野誠也、阪根英人、
(産総研東北) 棚池修
- 117-314-C-3 鋳鉄から取り出した球状黒鉛について
(九工大) ○坪田敏樹、大坪文隆、(あいち産業科学技術総合センター) 吉元昭二、(日之出水道機器) 梅谷拓郎
- 117-314-A-1 新カーボン用語辞典について
(東工大名誉) ○安田榮一、(元東海カーボン) 浴永直孝、(群馬大名誉)

大谷朝男、(元神戸製鋼)西澤節、(産総研つくば)羽鳥浩章、(元産総研)山田能生

- 117-314-A-2 極薄 carbon membrane の減速光学系 SEM による 2 次電子像観察と Monte Carlo electron trajectory simulation
(東京都市大名誉) ◦菱山幸宥、吉田明、鏑木裕
- 117-314-A-3 有機結晶の炭素化による構造規則性カーボンアロイの調製
(東北大) ◦西原洋知、松浦健太、廣田徹也、(九大) 谷文都、上村拓也、(東北大) 大和田真生、(兵庫県立大) 松尾吉晃、(大阪市工研) 丸山純、(東北大) 京谷隆
- 117-314-B-1 ^2H NMRによるGIC層間の有機分子の運動状態解析
(岡山大) ◦後藤和馬
- 117-314-B-2 炭素平板電極上において二成分電解質が形成する電気二重層の構造とキャパシタンス
(産総研関西) ◦清原健司、(関西大) 杉山侑弥、山縣雅紀、石川正司

4-3 その他報告事項

(1) 炭素材料学会近況報告

※尾崎主査(学会運営委員長)より学会運営について以下の報告があった。

- ・ 学会会員数の状況と関西大学で12月2-4日に行われる2015年度年会の準備状況が報告された。年会の講演申し込みの締め切りは8月17日(月)24時厳守とのこと。ホテルが混み合うことが予想されるので、早めの予約を推奨する旨の案内があった。
- ・ 講習会、セミナーの報告があった。先端科学技術講習会は6/5に、「リチウムイオン電池用導電助剤・バインダー」をテーマに開催、102名が参加した。スキルアップセミナーは9/4に炭素材料の凝集と分散をテーマに連合会館で開催予定。
- ・ 夏季セミナーは、8/10-8/11に東京ソラマチで開催。並行して行う次世代の会講演会で、川口委員長が「炭素材料 第117委員会が次世代の産学連携に期待すること」というタイトルで講演する予定。
- ・ CARBON2015への参加費補助を正会員2名、学生会員3名に行った。なお、CARBON2015では川口委員長がPlenary Lectureを行った。

※曾根田氏(学会編集委員長)より炭素誌について以下の報告があった。

- ・ 6月に268号が発刊済みで、第4回日独セミナーの小特集が掲載されている。
- ・ 一般投稿論文が少ないので、特に学界からの投稿を歓迎する。企業関係者からの投稿は比較的好調。

※齋藤委員外会員（夏季セミナー実行委員長）

・今年度の夏季セミナーを 8/10-8/11 に、千葉工大の施設である東京ソラマチにて開催する。宿泊は別のホテル。受付はすでに終了しており、83名の参加予定と大変盛況の予定であり感謝したい。

(2)国際会議関係 特に報告なし

(3)CARBON 誌関係：羽鳥委員

・インパクトファクターが 6.160 から 6.196 に微増。上げ止まりの印象もある。エディター会議では、さらに上げる為の議論が行われた。皆様に積極的にご投稿いただくようお願いしたい。

(4)その他報告

・稲垣幹事より、炭素材料に関する最近編纂した 3 冊の英文書籍の案内があった。多くの方に執筆分担をしてもらった旨が報告された。なお、これら書籍は中国・清華大学とエルゼビア社から同時に出版されており、内容が全く同じであるにもかかわらず中国で買ったほうが圧倒的に安い、というエピソードも併せて紹介された。

(以上)